



かつて矢嶋家があった杉堂周辺の風景

勝子は里親に預けた達子を姉たちに頼み、兄の看病のため上京することに。長崎から船に乗り東京へ向かった勝子は、新しい門出を祝し、自分の名前を「勝子」から「楳子」へと改名した。

小学校の教育者に

矢嶋楳子、39歳の旅立ちだった。单身上京した楳子は兄のものとへ。左院議員であった直方

は、神田区裏猿楽町の大屋敷で、書生、女中らを雇っていたが、放漫財政で1,000円(当時の借金を抱えていた。楳子はその放漫な生活を正し、わずか3年足らずで借金を片付けた。

明治4年に文部省が設置されると、小学校教員伝習所が開かれた。向学心が強かった楳子は小学校教員を目指し伝習所に通い始める。楳子は1年で教員免許を取得。当時兄が政府の高官であったことも手伝って、教員免許取得後すぐに芝の桜川小学校(現・港区立御成門小学校)に採用された。ここから30余年の楳子の活動が始まる。

明治11(1878)年、楳子はツル夫人に運命的に出会う。これがキリスト教信仰への契機となった。明治12(1879)年11月9日に築地新栄教会でタムソン博士から洗礼を受ける。後半生の新たな人生のスタートラインに

矢嶋家系図

